

2002 年

1. 論文

- 宗像恒次: 青少年引きこもり家族の SAT イメージ療法. 心身医学 42 (1) : 38-46, 2002.
- 宗像恒次: ヘルスカウンセリングからみた健康政策—「健康づくり」から「幸せづくり」へ. ヘルスカウンセリング学会年報 8: 25-34, 2002.
- 樋口倫子, 宗像恒次: SAT イメージ療法による心因性視覚障害の視機能の変化. ヘルスカウンセリング学会年報 8: 37-46, 2002.
- 宗像恒次, 川幡和子: ヘルスカウンセリングセミナーの教育効果の評価—第 8 報. ヘルスカウンセリング学会年報 8: 97-104, 2002.
- 奥富庸一, 宗像恒次: 認知された小児期の心傷体験出来事と心身健康の共分散構造分析. 日本精神保健社会学会年報 8: 54-62, 2002.
- 小林由実, 宗像恒次: 大学生の心理社会的要因と精神健康に対する自然体験の影響. 日本精神保健社会学会年報 8: 39-53, 2002.
- 劉沈穎, 宗像恒次, 橋本佐由理, 薄葉真理子, 樋口倫子: 中国における一人っ子のメンタルヘルスに及ぼす心理社会的要因. 日本精神保健社会学会年報, 8: 24-38, 2002.
- 宗像恒次: 自己カウンセリングシート法による食行動変容—新たな栄養教育の試み. 臨床栄養 101 (7) : 817-823, 2002.
- 樋口倫子, 宗像恒次: 心因性視覚障害の SAT イメージ療法. 日本保健医療行動科学会, 17: 16-30, 2002.
- 山内恵子, 藤井徹, 宗像恒次: 糖尿病とヘルスカウンセリング—糖尿病患者の栄養管理—. 日本保健医療行動科学会, 17: 31-46, 2002.
- Shibata N, Okasaka Y, Nozu Y. and Munakata T: Research on the problem of group drinking in university students—for students majoring in physical education and education, Japanese Journal of School Health 43: 69-70, 2002.
- Munakata T: Integrated approaches to health—from behavioral science perspective, Proceedings of the Fourth International Conference of Health Behavioral Science, pp. 8-18, Japan Academy for Health Behavioral Science, 2002.
- Akimoto N. and Munakata T: A study on factors relating to subjective QOL and self-determination of dialysis patients, Proceedings of the Fourth International Conference of Health Behavioral Science, pp. 138-142, Japan Academy for Health Behavioral Science, 2002.
- Higuchi N. and Munakata T: Effect of SAT image therapy in psychogenic visual disturbance, Proceedings of the Fourth International Conference of Health Behavioral Science, pp. 244-249, Japan Academy for Health Behavioral Science, 2002.
- 宗像恒次: ヘルスカウンセリング実践法. 働く人の安全と健康 3(1) : 53-56, 2002.
- 宗像恒次: セルフケア行動を支援する構造化カウンセリング(SAT)法. 生活教育 46 (4) : 40-46, 2002.
- 宗像恒次: 心の疲れが身体や行動に表れるメカニズム. 児童心理 766: 10-17, 2002.
- 宗像恒次: 抑うつへのアプローチ. 隔月刊ヘルスカウンセリング 5(1) : 105-109, 2002.
- 宗像恒次: 情に報いる時代. 隔月刊ヘルスカウンセリング 5(2) : 106-110, 2002.
- 宗像恒次: ストレスマネジメントからみたセルフケアの支援. 隔月刊ヘルスカウンセリング 5(3) : 49-54, 2002.
- 宗像恒次: ターミナルステージをコーディネートする SAT イメージ療法. 隔月刊ヘルスカウンセリング 5(4) : 33-39, 2002.

2. 著書

- 宗像恒次: 男をやめる—人生をもっと豊かに生きるために. ワニブックス, 東京, pp. 1-235, 2002.
- 宗像恒次: 医療者の「燃えつき」にどう対処すればよいか?. 飯島克巳(編)この一冊で在宅患者の主治医になれる. 南山堂, 東京, pp. 135-148, 2002.
- 宗像恒次: リスニング&アサーション本当の共感がわかる本. 日総研出版, 名古屋, pp. 1-143, 2002.
- 宗像恒次: ストレス「キレ」るイイ子の心の教育. 教育と医学の会(編)現代人の心の支援シリーズ 2「知と感性をそだてる」. 慶應義塾大学出版会, 東京, pp. 158-171, 2002.
- 宗像恒次: 保健行動学からみた母子保健. 青木康子, 加藤尚美, 平澤美恵子(編)助産学大系 助産診断・技術学. 日本看護協会出版会, 東京, pp. 3-41, 2002.
- 宗像恒次: 男をやめる. ワニブックス, 10-235, 2002.

3. 口頭発表

- J. Campano and T. Munakata: The effectiveness of an adolescent anger management program in the Philippines. XV World Congress of Sociology. Brisbane, Australia. 2002.
- T. Hashimoto and T. Munakata: The effects of structured association technique program for stress management. XV World Congress of Sociology. Brisbane, Australia. 2002.
- T. Munakata: The effects of telecounseling on the mental health of computer engineering workers. XV World Congress of Sociology. Brisbane, Australia. 2002.
- 宗像恒次: 基調講演「健康づくり」から「幸せづくり」へ—病が変えるシステムとひと. 第 9 回ヘルスカウンセリング学術大会, 千葉県, 2002. 9.
- 劉沈穎, 宗像恒次, 橋本佐由理, 樋口倫子: 中国に地域社会における青少年のメンタルヘルスに関する一考察—都市部と農村部における一人っ子群と非一人っ子群との比較. 第 9 回ヘルスカウンセリング学術大会, 千葉県, 2002. 9.
- 宗像恒次: シンポジウム「ひきこもり青少年の両親と本人への自己成長療法—SAT イメージ療法の事例」. 日本健康科学学会第 18 回学術大会, 茨城県, 2002. 10.
- 宗像恒次: シンポジウム「トラウマ～心傷体験の社会的伝達～」. 日本精神保健社会学会第 8 回学術大会・総会, 東京都, 2002. 11.

4. その他

- 宗像恒次: 書評 コミュニケーションの臨床心理学—臨床心理言語学への招待. 精神療法 28 (1) : 117-118, 2002.
- 宗像恒次: ミスを繰り返す人たち. 隔月刊ヘルスカウンセリング 5(1) : 66-74, 2002.
- 宗像恒次, 橋本佐由理: がん患者に対する SAT イメージ療法施行と遺伝子 ON/OFF. 第 1 回「こころ」と遺伝子研究会 抄録集: 54-64, 2002.